

小山市小学校

# 「英語科」について

小山市教育委員会

はじめに

小山市では構造改革特別区域英語教育特区の認定を受け、平成18年4月から市内全27小学校で「英語科」をスタートしました。平成21年度からは、文部科学省「教育課程特例校制度」の指定を受け、引き続き「英語科」を実施しています。

このリーフレットをお読みいただき、小学校英語科への理解を深めていただければ幸いです。

※小山市では、小学校5・6年生は「外国語活動」ではなく「英語科」を実施します。

## Q1 なぜ小学校で英語を始めるのですか？

国際化が進む中で、子どもに主体的に生きていく力を育てていくことがいっそう求められています。そこで、小学校の英語科を通して、子どもに主体性や積極性を育もうと考えています。子どもは英語の音声への興味・関心が旺盛で吸収力があり、外国人ともはずかしがらずに活動できます。このような小学校段階から、外国語指導助手（ALT）等と英語によるコミュニケーションを楽しむことで、生きる力の源である『主体性』が育まれるものと期待します。

## Q2 小山市小学校英語科の目標は何ですか？

「英語に楽しみながら慣れ親しませることにより、実践的なコミュニケーション能力の基礎を培うとともに、豊かな国際感覚を養う」ことです。

小山市では、広い視野をもち、相手を理解し、自分の気持ちや意思を伝えようとする子どもを育てることを目指しています。

実際に、これまでの各校の実践から、次のような点が成果としてあげられます。

- ☆ 自分の思いや考えをもち、友だちやALT等と進んで伝え合おうとする姿が多く見られた。
- ☆ 英語科での意欲的な姿勢が、他教科等でも見られるようになってきた。
- ☆ 英語や外国の文化等に対する興味・関心をもつ児童が増えた。

友だちや先生とたくさん話せたわ！

なんだか自信ができたよ。

英語の時間が楽しみだよ。



### Q3 「英語科」の授業は何時間行いますか？

1・2年生は年間10時間、3～6年生は年間35時間実施します。

### Q4 英語はだれが教えるのですか？

英語の授業は、学級担任の先生が中心となって、ALT等が協力しながら進めます。

平成18年度から、10名のALTが小学校を訪問し、子どもが生の英語に接する機会が増えています。

### Q5 テストは行いますか？ また、通信票(学びのすがた)はどうなりますか？

ペーパーテストは実施しません。

通信票には、授業での取組の様子を書いてお知らせします。他教科のような評価は出しません。

小学校段階では、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることを大きなねらいとしています。したがって、「〇年生までに〇個の単語を覚えなければならない、〇〇の表現が使えなければいけない」といった知識や技能の習得を主にねらっているのではありません。それらはコミュニケーション活動の結果、自然に身に付くものととらえています。

豊かなコミュニケーション活動を通し、多くの人とかかわり合い、いつも目を輝かせ、元気に学校生活を送り、そして英語が大好きな子どもを育てていきたいと考えています。

小学校で英語をやるって聞いたけど、うちの子はだいじょうぶかな？心配だな・・・。



だいじょうぶよ。小学校では、英語への興味・関心を高めることがねらいなのよ。これを覚えなければダメ、これが書けなければダメということはないのよ。

うちの子もきっと英語が好きになるわ！

